※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　工業科（電気系・電子情報通信科（専科））

教科	工業	科目	㈜ＣＳ基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	情報技術検定問題集２・３級ＢＡＳＩＣ（実教出版）、プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

(2)　様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(3)　情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

２　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。最終的には、「情報技術検定２級」程度の学習レベルに到達することを目標とする。

(1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技術を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技術を身につけているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ハードウェア　論理演算	数の表し方 論理回路とコンピュータの基本回路 コンピュータの構成と基本動作 ソフトウェア	a:ハードウェア、論理演算について理解し、適切に課題を遂行することができる。身近な、数理処理の知識を身につけ、実際に活用して工業技術の諸課題を主体的に解決し、工業の意義や役割を理解している。 b: ハードウェア、論理演算について理解し、発展的に思考・考察・表現することが出来る。身近な数量を題材としに関心をもち、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて数理処理を行い、多面的・多角的に考察し、工夫して表現する能力を身につけている。 C: ハードウェア、論理演算ついて興味関心を持ち、課題に向けて主体的に追究、解決しようとしている。数理処理について関心をもち、基礎的な数式を意欲的に活用し合理的に数理処理を行う実践的な態度を身につけている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出	ノート 提出 振り返り シート 行動観察
二学期	社会におけるコンピュータの役割、通信技術	コンピュータ制御 ネットワークとマルチメディア コンピュータと社会	a: 社会におけるコンピュータの役割、通信技術について理解し、適切に課題を遂行することができる。身近な応用例の知識を身につけ、実際に活用して工業技術の諸課題を主体的に解決し、工業の意義や役割を理解している。 b: 社会におけるコンピュータの役割、通信技術について理解し、発展的に思考・考察・表現することが出来る。身近な現象を題材としに関心をもち、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて数理処理を行い、多面的・多角的に考察し、工夫して表現する能力を身につけている。 C: 社会におけるコンピュータの役割、通信技術ついて興味関心を持ち、課題に向けて主体的に追究、解決しようとしている。情報社会について関心をもち、具体例を意欲的に活用し合理的に意見集約を行う実践的な態度を身につけている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出	ノート 提出 振り返り シート 行動観察

※令和４年度以降入学生用

三学期	コンピュータプログラミング	流れ図 Full BASIC	a: コンピュータプログラミングについて理解し、適切に課題を遂行することができる。命令文や関数の知識を身につけ、実際に活用して工業技術の諸課題を主体的に解決し、工業の意義や役割を理解している。 b: コンピュータプログラミングについて理解し、発展的に思考・考察・表現することが出来る。身近な現象を題材としに関心をもち、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて数理処理を行い、多面的・多角的に考察し、工夫して表現する能力を身につけている。 C: コンピュータプログラミングついて興味関心を持ち、課題に向けて主体的に追究、解決しようとしている。アルゴリズムについて関心をもち、具体例を意欲的に活用し合理的に意見集約を行う実践的な態度を身につけている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 ﾌﾟﾘﾝﾄ 提出	ノート 提出 振り返り シート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度